



東京ガスグループ2018-20年度経営計画

GPS2020

実現に向けた取り組みについて



2018年10月11日

東京ガス株式会社



はじめに：東京ガスグループの経営環境認識



- ガス小売全面自由化から2年目を迎え、**新たに自由化された小口のお客さまの他社への切替**はもとより、既に自由化されていた**大口・卸先事業者のお客さまの切替も拡大**しています。また、全面自由化から3年目となる電力小売についても、首都圏で**さまざまなプレーヤーによる切替が拡大**しています。
このように、**ガス・電気の競争は激しさを増しており、首都圏におけるエネルギー競争は本格化したと認識**しています。また、お客さまに東京ガスグループを選んでいただくために、**付加価値のご提供がますます重要になると認識**しています。
- 天然ガスは、化石燃料の中で温室効果ガスの排出が最も少ないこと、ミドル電源の中心的な役割を果たしていること等から、第5次エネルギー基本計画では「**長期の環境負荷の低減を見据え、役割を拡大していく重要なエネルギー源**」と位置付けられました。今後、**各分野で天然ガスシフトが進んでいくと認識**しています。
- 昨今、日本全国で地震・台風等による大きな被害が発生し、大規模な自然災害への防災意識が高まっています。日本経済の中心地“首都圏”において、大規模災害への防災対策により、**お客さまへエネルギーを安定的にお届けする使命の重みをあらためて認識**しています。
- 天然ガスに高い価値を見出し、1969年に日本で初めてLNGを受入れ、来年には**節目となる「LNG導入50周年」**を迎えます。「**次なる半世紀**」を切り拓くために、低炭素化社会の実現に貢献する**天然ガスのさらなる高度利用や、再生可能エネルギーへの取り組み等のさまざまな変革にチャレンジしていくことが不可欠と認識**しています。





ステークホルダーのみなさまへお伝えしたい 重要なポイント



電力契約件数目標の上方修正

- これまで ● **キャンペーンの実施、異業種他社との連携**による販売体制の拡充等により、2018年9月末で約145万件のお客さまに電気をお届け（供給中）しています。
- これから ● 2020年度末までに達成する**電力契約件数（供給中）目標220万件を、240万件へ上方修正**し、より多くのお客さまに東京ガスの電気をお届けすることをめざします。

お客さまのニーズにお応えする サービスの拡大

- これまで ● 家庭用では**器具販売・修理、工事等のサービス**や、業務用・工業用では**さまざまなエリアにおけるエンジニアリングサービス・エネルギーサービス(ES)**をお届けしてきました。
- これから ● 家庭用では**ビジネスパートナーと協業して開発する“共創サービス”**を拡大していきます。業務用・工業用では**ESメニューの拡充等**を通じて、**サービスを日本全国へ拡大**していきます。

柔軟性の向上と競争力の強化を目的とした LNGのグローバルアライアンスの推進

- これまで ● 関西電力・九州電力等の国内パートナーや欧州企業のセントリカ等の海外パートナーと、**LNG契約・船舶等の資産最適運用**に向けたアライアンス関係を構築してきました。
- これから ● **新規調達やLNGトレーディングにおいて、セントリカ社との関係を深化**させていくとともに、国内外パートナーとの**グローバルアライアンス**を通じて、**成長戦略の実現に資するLNG調達**を推進していきます。

再生可能エネルギー電源の獲得と 分散型エネルギーシステムへの対応

- これまで ● 陸上風力発電に加え、**太陽光・洋上風力発電への取り組みも開始**しました。また、**バーチャルパワープラントの構築**に向け、**ダイヤモンドリスponsサービスへの対応等**を開始しました。
- これから ● 「**洋上風力発電**」へ注力し、国内にとどまらず**海外における事業参画を加速**していきます。また、**FIT買取期間終了となる太陽光発電の買取サービス**を検討する等、分散型エネルギーシステムへの対応を進めていきます。



2018-20年度経営計画“GPS2020”の概要



- 東京ガスグループは「チャレンジ2020ビジョン」の集大成として、2017年10月に2018-20年度経営計画“GPS2020”を策定しました。
- 『天然ガスの時代』『電気とガスは1つからという時代』『デジタル化の急速な進化がもたらす異次元イノベーションの時代』という時代認識を踏まえ、東京ガスグループならではの“GPS×G”を展開し、2020年代の発展・飛躍を確実なものとしします。
- ガス（Gas）＆電気（Power）に、お客さまのニーズに合ったサービス（Service）を組み合わせ、さまざまな手段で国内外のお客さまへ（Global）お届けします。

お客さまとの絆の強化と新たな価値提供（重点戦略）

“GPS”の最適なご利用をご提案します（p4～10）

ご家庭のお客さま

業務用・工業用のお客さま

さまざまな手段で

G ガス
都市G・LPG

&

P 電気

+

S サービス
家庭用
業務用/工業用

S 地域開発
サービス

海外市場において
天然ガスを中心に
環境に優しいエネルギー
供給を実現します
(p11)

多様なプレーヤーとの積極的なアライアンス戦略により“GPS×G”をスピーディーに実現します（p9）

重点戦略を支える経営基盤強化の取り組み

エネルギーインフラ
の拡充
(p12～15)

デジタル化・イノベーション・
技術開発の取り組み
(p16)

ESG（環境・社会・ガバ
ナンス）の取り組み
(p17～20)

組織改革・
人材基盤強化
(p21)



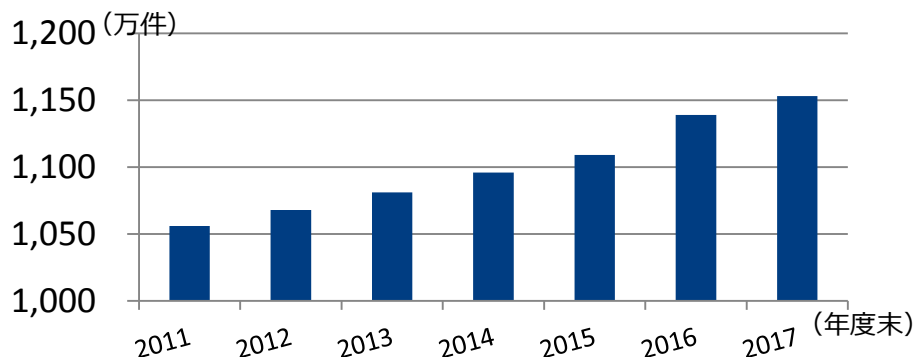
都市ガスに関する取り組み



- **これまで** ガス小売全面自由化2年目を迎え、**他社への切替件数は約50万件**（2018年9月末）となり、厳しい競争が続いています。一方、**自由化への適切な対応**を行うことを通じて、**お客さまへお届けする価値**をさらに高めています。
- **これから** お客さまに東京ガスの都市ガスをお選びいただけるよう、ガスに加えて電気やサービスの一体的なご提案を進めていきます。また、**ガスシステム改革の目的のひとつである天然ガスの普及拡大**を念頭に、都市ガスへの燃料転換やガス機器のご提案等を通じ、卸先事業者とともに**都市ガスの基盤**を広げていきます。

都市ガスの普及拡大

- ガス導管網の拡充や都市ガスへの燃料転換等の需要開発の取り組みを行っていきます。
- メーター取付件数は1,158万件（2018年8月末）となりました。



- ガス取扱量の2018年度見通しは約193億m³となりました。
- 卸先事業者とともに、ガス・電気・サービスの一体提案を積極的に推進し、都市ガスの普及拡大を行っていきます。

自由化の進展とその対応

- **他社への切替件数は約50万件**となりました（2018年9月末）。また、大口・卸先事業者のお客さまの切替も進んでいます。
- **新規小売事業者の消費機器保安業務の受託・防災面での新規小売参入者との連携等**、自由化時代でも**お客さまにガスを安心してお使いいただける体制**を整えています。



LPガスに関する取り組み



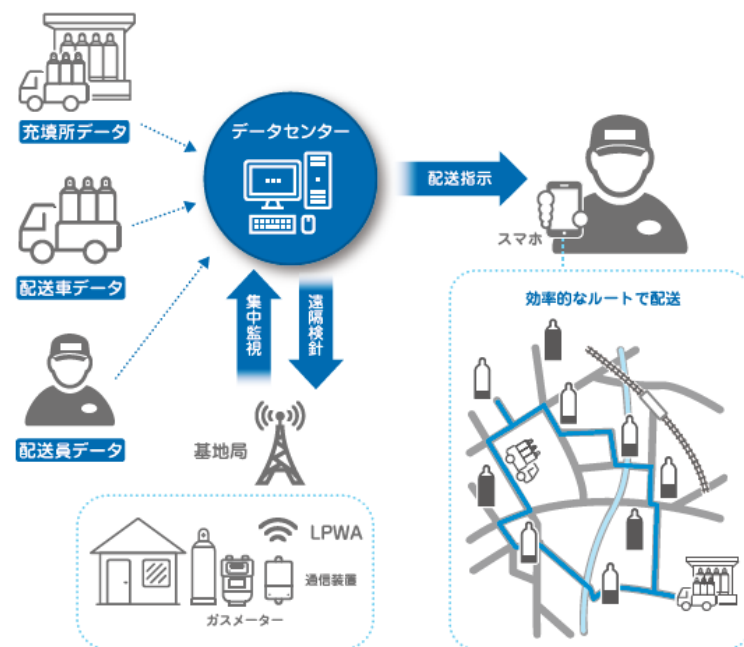
- **これまで** 都市ガスをお届けできないお客さまに、東京ガスグループのLPガスをご提案しています。また、**100万件規模の共同配送によるコスト削減やお客さま保安の高度化**のために、LPガスの充てん・配送会社ガスクル(株)を発足(※)し、事業を開始しました。
- **これから** ハウスメーカーや集合住宅管理会社等の**パートナーとの連携を強化**し、LPガスに加えて電気やサービスの一体的なご提案を進めます。また、業務用分野におけるガスエンジン・ヒートポンプ・エアコンのご提案を通じて、学校や震災時避難所への空調の普及を進めます。

※ アストモスエネルギー(株)・ENEOSグローブ(株)・東京ガスリキッドホールディングス(株)による共同出資

物流・お客さま保安体制の合理化・高度化

- ガスクル(株)では、(1)遠隔検針によるLPガス容器交換時の残ガス量を極小化、(2)配送順序・ルート最適化で移動距離や時間を最小化する、**AI・IoTを活用した配送計画システム**(東京ガスグループにて開発中)を導入します。
- さらに、都市ガスにおける保安体制・教育制度に関するノウハウを活用し、LPガス販売事業者には課せられる**保安業務の高度化**を図ります。
- これらの強みを武器として、ガスクル共同配送に参加する他事業者を募り、お客さま100万件規模をめざします。

AI・IoT活用による配送効率化



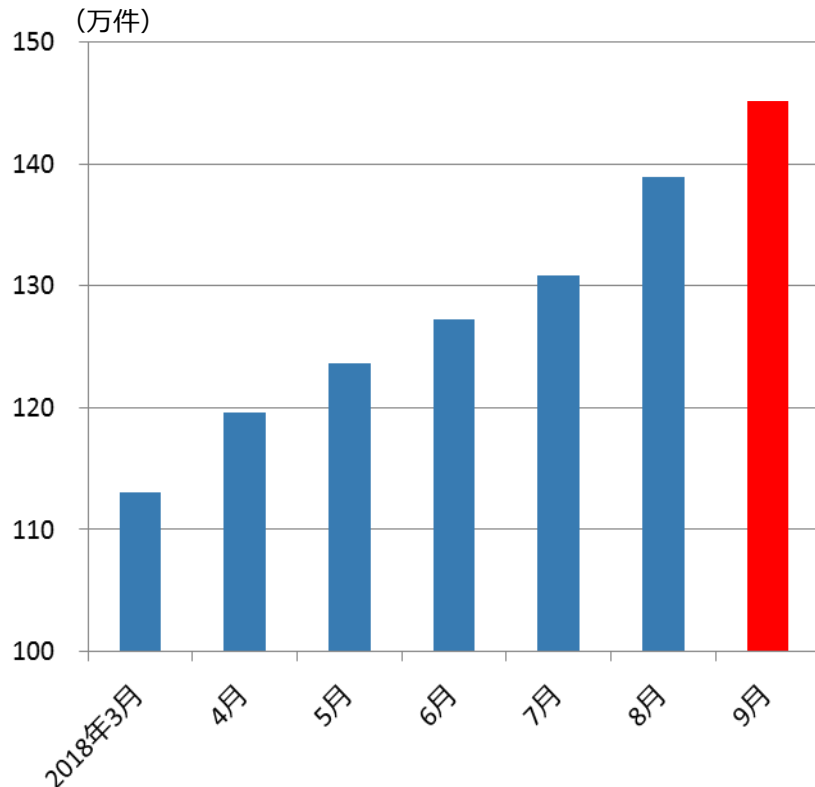


電気に関する取り組み

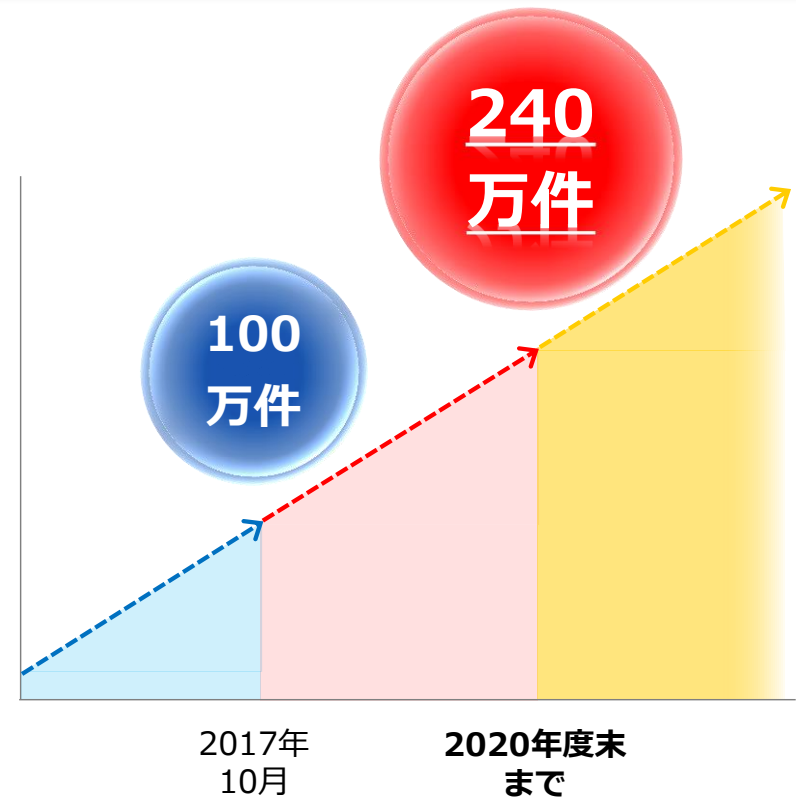


- 本年7月中旬～9月下旬に展開した「でんきdeラッキーキャンペーン」では多くのお客さまからお申し込みいただき、9月末時点で約145万件のお客さまに当社の電気をお届け（供給中）しています。
これまでに
- 2020年度末までに達成する**電力契約件数（供給中）** 目標220万件を240万件へ上方修正し、より多くのお客さまに東京ガスの電気をお届けすることをめざします。
これから

電力契約件数(供給中)の順調な獲得



目標の上方修正





ご家庭のお客さまへのサービスの拡大 ～ 東京ガスグループの“共創サービス” ～

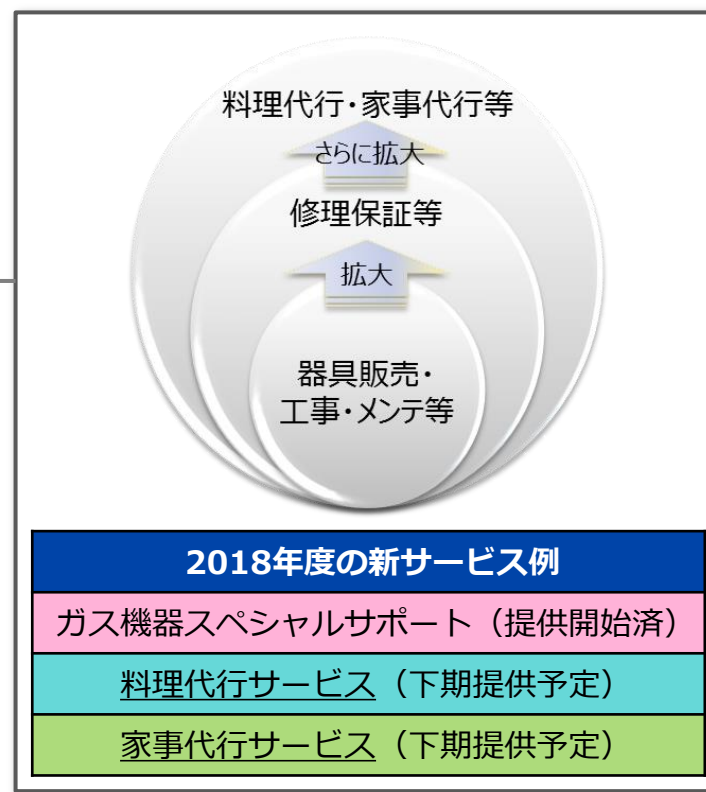
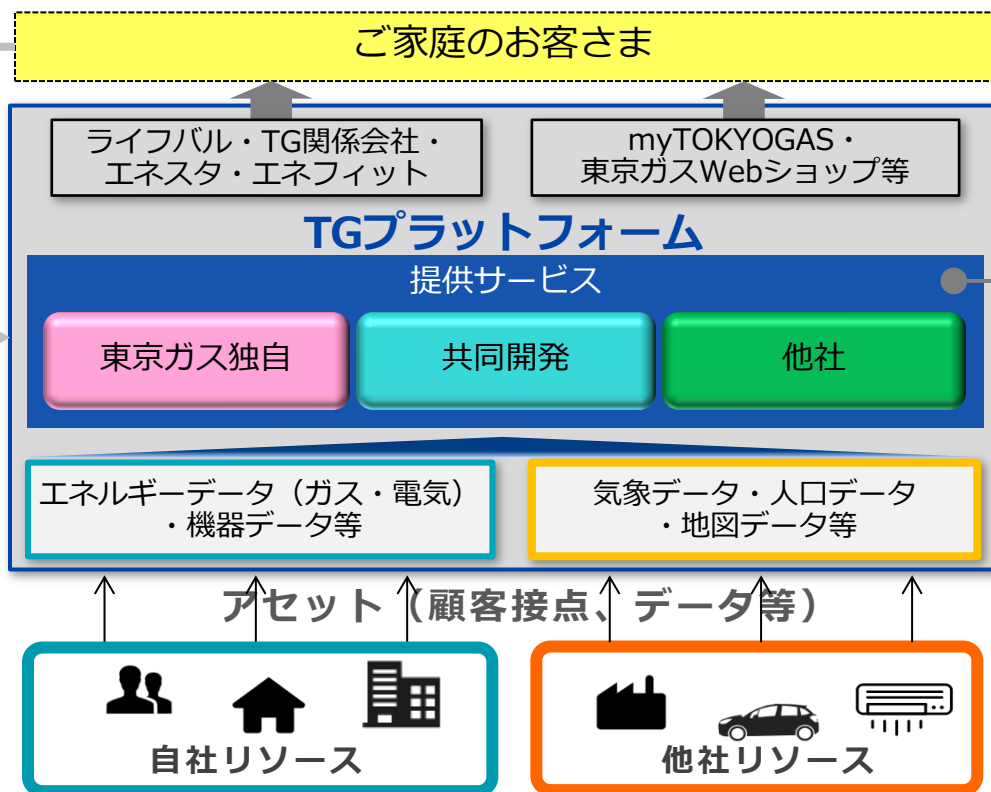


- 都市ガス周辺の**器具販売・修理、工事等の総合設備領域のサービス**を通じて、お客さまへ**豊かで快適な暮らし**をお届けしてきました。
これまで
- **お客さまのニーズに耳を傾け、ビジネスパートナーと協業して開発する“共創サービス”**を拡大し、**東京ガスのプラットフォーム**を通じてお届けしていきます。
これから

パートナーと当社グループとの“共創”による価値の提供

さまざまなサービスの拡大

サービス利用によって得たデータを
新たなサービス創出・サービス改善へ活用



2018年度の新サービス例

- ガス機器スペシャルサポート（提供開始済）
- 料理代行サービス（下期提供予定）
- 家事代行サービス（下期提供予定）



業務用・工業用のお客さまへのサービスの拡大

～ 東京ガスグループの“共創サービス” ～



- 九州・長野・沖縄へと拡大した拠点を起点に、**首都圏のみならずさまざまなエリアで、再開発におけるエネルギー供給や燃料転換等の強みを活かし、シリーズオーナー等のお客さまへのご提案を進めています。**
- IoTやビッグデータ解析等を活用した**エネルギーサービスメニューの拡充**により**新たなお客さまニーズにお応え**するとともに、**地元エネルギー事業者とも協業してサービスエリアを拡大**していきます。

四国×LNGエンジニアリング

- 2018年4月に新居浜LNG(株)を設立、6月に現地事務所を開設して、10月にLNG基地建設に着工しました（2021年度運用開始予定）。

九州×エネルギーセンター

- 鹿児島県の再開発事業「キ・ラ・メ・キ テラス」において、南国殖産(株)グループとエネルギーセンターを設置します(2020年度開始予定)。
- 効率的に電気・熱を供給して省エネ・省コストを実現します。



＜キ・ラ・メ・キ テラス完成イメージ＞

長野×天然ガスコージェネ

- 長野市民病院において、ガスコージェネレーションおよび空調設備を更新し、効率向上による省エネを推進しています。

北海道×天然ガスコージェネ

- 森永乳業(株)佐呂間工場において、道東地区で初のLNGサテライトによるガスコージェネレーションを設置し、省エネ・省CO2を実現します（2019年1月開始予定）。

長野×水処理コンサル

- LNG供給先のニチコン製箔(株)大町工場の排水処理設備更新における、水処理の最適化・運用改善により、省エネ・汚泥削減を実現しています。

沖縄×バイオガスコージェネ

- 沖縄ガス等との合併会社“いとまんバイオエナジー(株)”(仮)へ参画・出資し、バイオガス利用のガスコージェネレーションを導入します（2019年4月開始予定）。



- エネルギーサービス実績
- LNG基地・LNGサテライト実績
- マッピングシステム導入実績
- 営業拠点



ビジネスパートナーとの連携による“GPS”の拡大



- **これまで** ケーブルテレビ業界最大手の**（株）ジュピターテレコム（J:COM）** およびJ:COMグループ19社（42局）と当社都市ガス供給エリアの一部（※）において**ガス取次契約を締結**しました。また、さまざまなビジネスパートナーと、電気販売に関する業務提携や、サービスメニューの共同開発を進めています。
- **これから** サービス分野では**出資**も行う等、シナジーのある**ビジネスパートナーとの提携をさらに拡大**して、ガス・電気・サービスをセットでお届けする取り組みを加速していきます。

※東京ガスの都市ガス供給エリアのうち、東京地区等・群馬地区

ガス分野の提携

- 当社都市ガス供給エリアの内、J:COMのサービスエリアにお住まいで同社の放送・通信サービスをご利用中のお客さまに対して、J:COMを通じ都市ガス小売サービスを提供していきます（2019年度上期に申込受付開始予定）。

J:COM

電気分野の提携

- お客さまとの接点・関係性を有している不動産関連をはじめとした、**異業種のパートナーと連携**して、電気販売体制を拡充しています。

提携中企業の業種例	
ケーブルTV	仲介不動産
省エネサービス	管理会社
家事代行	引越し

サービス分野の提携

- これまでの**（株）オトバンク**とのオーディオブックサービス等に加え、今後は**（株）カジタクとの料理代行サービス等**の新たなサービスの提供、**ENECHANGE（株）の持つ新規サービス提供基盤の活用**等、ビジネスパートナーとの提携を進めます。


OTOBANK

KAJITAKU

家事の宅配

ENECHANGE



地域開発サービスの拡大



- 都心部を中心に、ご家庭のお客さまへの快適な住まい（賃貸住宅）・働く方への快適なオフィス空間（賃貸オフィスビル）のご提供やまちづくりを通じて、地域へ貢献してきました。
- 豊洲・田町等のまちづくりを着実に進めるとともに、**保有する中小規模用地の開発を加速**していきます。また、**ビジネスパートナーとの共同事業**や**新たな不動産の取得**に取り組むことで、地域開発サービス事業を拡大していきます。

まちづくりへの貢献

- 2018年10月11日の豊洲市場の開場に伴い、**スマートエネルギーネットワークを活用したエネルギー供給を本格開始**しました。

これから建設されるホテル・オフィス等へのエネルギー供給や、まちに賑わいをもたらす施設の誘致等を行い、豊洲用地の開発を加速していきます。



- JR田町駅に直結するmsb Tamachiの第Ⅰ期（田町ステーションタワーS・プルマン東京田町）が竣工し、**新しいまちがオープン**しました。第Ⅱ期（田町ステーションタワーN）は2020年夏の竣工に向け、建設を進めています。

共同事業・新規不動産取得の加速

- 関電不動産開発(株)等と共同で「**芝パークビル**」を2018年3月に取得しました。賃貸による長期運用を行い、まちの活性化に貢献していきます。



- 西武線練馬駅徒歩2分の（仮称）豊玉賃貸住宅を建設しています（2019年10月竣工予定）。
- 賃貸住宅の取得にも取り組んでいます（2018年6月「ヴィークブライト中野・野方」「イプセ大森」を取得し、賃貸中）。



<ヴィークブライト中野・野方>



海外市場における事業の拡大



- 「天然ガスの時代」を背景に、**インフラ形成が進展しているアジア地域**を中心として、天然ガスを普及拡大する取り組みを進めています。既存の豪州・北米での上流事業に加え、東南アジアでの**ガス配給事業やガス発電プロジェクト**等、複数案件に参画しました。
これまで
- LNG基地建設・燃料転換等のエンジニアリング力やエネルギーの高度利用による省エネ提案等、**国内で培った強みを発揮**して、さらなる事業拡大に取り組んでいきます。
これから

アジア地域におけるガス供給事業への参画

- タイのガス配給会社「GWHAMT社」に出資しました（2018年1月）。現在、二つの工業団地において、ガス導管を敷設しています。
- 今年度より順次、ガス導管の竣工およびガス供給開始を予定しています。



＜タイ工業団地向け導管敷設工事状況＞

アジア地域におけるLNG基地建設への参画

- タイにおいて「マプタプットLNG受入基地」につづき、「ノンファブLNG受入基地」建設工事におけるプロジェクト・マネジメント・コンサルタント業務を受注しました（2018年1月）。



＜ノンファブLNG受入基地建設予定地＞

LNGバリューチェーンの強化

- **これまで** 米国コーブポイントLNGの受入れを開始し、**柔軟性の向上と競争力の強化に資するLNG調達**を実現しています。また、**カナダ初となる大型LNG生産プロジェクト**や**モザンビークからの新規調達**に関する基本合意書を締結し、**プロジェクト立上げに寄与**するとともに調達の多様化を進めています。
- **これから** 柔軟性の向上と競争力の強化を目的に、**新規調達**や**LNGトレーディング**において、**セントリカ社等の国内外パートナーとのグローバルアライアンスを推進**し、**保有する資産の最適運用**を行っていきます。

競争力の強化等に資するLNG契約の獲得

- 米国コーブポイントLNGの受入れ開始により、下記を実現しました。
 - 従来の油価連動とは異なる**米国天然ガス価格に連動するLNGの調達**
 - 埋蔵量の豊富な**米国からの調達**
- 2018年10月10日に、「**LNGカナダプロジェクトからのLNGの購入**」に関する基本合意書を**売主と締結**しました。カナダからの調達は当社初であり、調達先のさらなる多様化に貢献します。



<エネルギーリバティ号>

グローバルアライアンスの推進

- 豊富な埋蔵量を有する東アフリカのモザンビークLNGプロジェクトにおいて、欧州企業のセントリカ社とともに、「**世界で初となる日本企業と欧州企業の共同調達**」に関するLNGの基本合意書を売主と締結しました。
- セントリカ社とは、**LNG契約・船舶等の資産を最適運用**することをめざし、輸送費低減に資するロケーションスワップ等の**LNGトレーディングを深化**させていきます。
- 関西電力・九州電力をはじめとした国内パートナーや海外パートナーとの**グローバルアライアンス**を推進していきます。

より競争力あるLNG基地・発電所運営

- 2016年3月に運転を開始した日立LNG基地において、**さらなる都市ガス需要の増加に対応**するため、2号LNGタンクの建設に着手しました。
これまで
- **電力販売量の拡大**に合わせ、2020年代における**500万kW規模の電源確保**に向けた検討を進めていきます。また、デジタル技術の活用等により、「安定供給」「保安の確保」を前提とした、**より競争力のあるLNG基地・発電所の運営**に取り組んでいきます。
これから

さらなる需要増加への対応と安定供給

- 日立LNG基地において、2号タンク（地上PC式LNGタンク、23万kl）の建設に着手しました。2020年度の運転開始を予定しています。



- 2018年度にLNG気化設備および非常用自家発電設備を日立LNG基地に増設します。これにより、東日本大震災以降取り組んできたLNG基地への自家発電設備増強が完了し、停電時も含めた安定供給を実現します。

電源の確保と競争力向上

- 建設が進んでいるコベルコパワー真岡発電所の稼働（2019・2020年度開始）により、約**300万kW相当**の電源を確保します。
- 今後の制度設計や市場環境も踏まえ、**500万kW規模**の電源確保に向けて、最適な電源ポートフォリオの構築を進めていきます。
- (株)扇島パワーのガスタービンの能力・機能向上を2018～19年度にかけて順次実施していきます。これにより、発電出力・効率の向上および点検間隔延長を実現します。

LNGバンカリングによる新たな需要開発

- LNG基地設備の活用等により、船舶燃料としてのLNG普及拡大に貢献していきます。

大規模災害に備えた防災対策

- 過去の災害対応の知見を元に地震防災システム“SUPREME”を導入したほか、昨今の地震・風水害等の大規模災害を踏まえ防災対策の高度化を進めてきました。また、ガス全面自由化後における災害対応力の確保のため、**新規ガス小売事業者との相互連携・協力**を目的に**合同の防災教育・訓練**を実施してきました。
- 大規模災害発生時には、的確な供給停止により二次災害防止を図りつつ、一部導入済みの**地区ガバナ（整圧器）**の**遠隔再稼働システム**を**拡大**すること等により、**さらなる早期復旧**を実現します。

SUPREMEによる防災の高度化

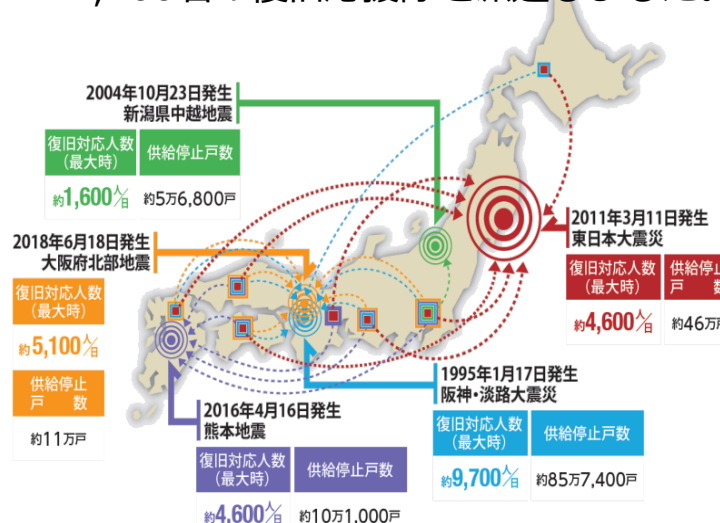
- 地震災害時は、約4,000箇所のセンサー(地震計)の情報を元に、被害の大きい地域だけを的確に供給停止します。
- 被害がない地域の当日中の復旧を可能にするガバナ(整圧器)の遠隔再稼働システムの導入をさらに進めていきます。



＜ガバナを遠隔操作する供給指令センター＞

全国の都市ガス事業者の復旧応援

- 全国の都市ガス事業者は、大規模災害復旧における要員や資機材について、**相互に協力する体制**を整えています。
- 大阪北部地震では当社グループから約1,200名の復旧応援隊を派遣しました。



新規ガス小売事業者との連携

- 毎年、全社員を対象とした総合防災訓練を実施し、各自が災害時に的確な行動を取る体制を整えています。
- **新規ガス小売事業者との相互連携・協力**に向け、定期的に**合同防災教育・訓練**を実施しています。



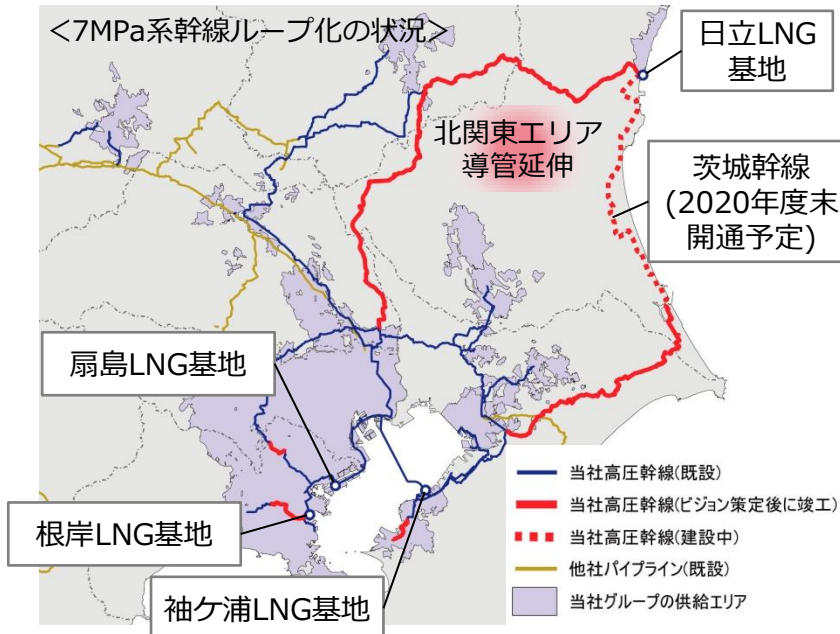
＜新規事業者との合同防災訓練＞

スリムでパワフルな導管事業者の実現

- 「天然ガスの時代」を背景とした**都市ガスの普及拡大**に向けて、6万km超までの導管網拡充・需要獲得、普及拡大の前提となる安全・安定供給の確保に向けた保安対策、さらには自由化時代における新生ガス導管事業者としての透明性・中立性・公平性の確保を進めてきました。
これまで
- 天然ガスの需要が多く見込める**北関東エリアへの導管延伸**等を進めるとともに、**より一層の経営効率化**に取り組むことで**託送料金の低減**を実現し、ガス輸送量を拡大していきます。
これから

供給安定性の向上と輸送能力の拡大

- 7MPa系幹線のループ化による供給安定性の向上と輸送能力の拡大に向けて、茨城幹線を2018年1月に着工し、工事を進めています(2020年度末開通予定)。



保安の確保と託送料金の低減

- 導管現場実務に特化した東京ガスパイプネットワーク(株)を設立し(2018年4月)、複数子会社に委託していた導管維持管理業務を東京ガスパイプネットワーク(株)に集約して、事業を開始しました(2018年10月)。
- 効率的でローコスト、変化に強く競争力・成長力のある導管事業者(スリムでパワフルな導管事業者)の実現をめざします。





将来の発展・飛躍に向けた 新たなエネルギービジネスの創出



- これまで**
- シリコンバレーに設立した「アカリオ・ベンチャーズ」による、**米国のベンチャーキャピタルへの出資（2社）、パートナー契約締結（1社）、アクセラレータープログラムへの参画（2社）**を行っています。
また、東京ガスは**国内ベンチャー企業（デジタルグリッド）へ出資するとともに、英国セントリカ社とコーポレートベンチャーキャピタル投資に関する覚書を締結**しました。
- これから**
- 3D（Decentralization：分散化、Decarbonization：脱炭素化、Digitalization：デジタル化）の潮流を踏まえ、エネルギー取引における新たなサービスやコージェネレーションシステムと蓄電池を組み合わせることにより、**新たなエネルギービジネスを創出**していきます。

世界の先進事例を応用した日本市場展開

- シリコンバレーをはじめとする**世界中の最新エネルギー・サービス事業分野にダイレクトにアクセス**し、当社の強みを活かした日本市場への適用・展開を行っていきます。



エネルギー分野における新たなサービス検討

- デジタルグリッド(株)と共同して、RE100企業向けやP2Pによる取引等、多様化していくエネルギー取引ビジネスに際して、ブロックチェーン等の先進技術を活用した**新たなサービスを創出**していきます。
- 省エネ性・環境性に優れたガスコージェネレーションシステムと蓄電池を組み合わせることにより、お客さまに対する**高度なエネルギーマネジメント**や、再生可能エネルギーの普及に伴い対応が必要となる調整力の供出等、**新たな価値を創出**していきます。

分散型エネルギーシステムへの対応



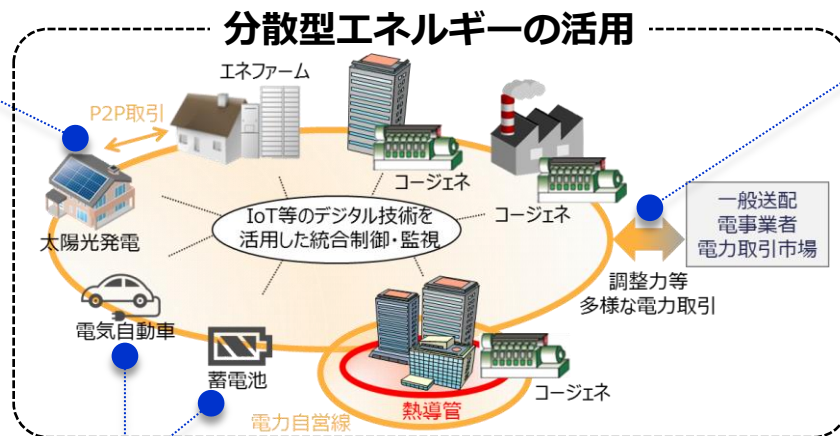
● 昨今の災害における停電時において、**ガスコージェネレーションシステム**や**エネファーム**がエネルギーの安定供給に寄与しました。こうした分散型エネルギーは、**災害時の安定供給性、経済効率性、環境性等の面で重要視**されています。田町・豊洲において**BCP対応等に資するスマートエネルギーネットワークの構築を進めるとともに、バーチャルパワープラントの構築に向け、ダイヤモンドリスpons(DR)サービスへの対応等を開始しました。**

● **再生可能エネルギー電源の獲得、FIT買取期間終了となる太陽光発電（FIT切れPV）の買取、蓄電池活用、電気自動車（EV）メーカーとの連携等により、分散型エネルギーシステムへの対応を進めていきます。**

将来のP2P電力取引も見据えた新たなサービスの提供

● FIT買取期間が終了したお客さまから、**余剰電力を買取るサービスを開始し、当社の電力契約とともに拡大していきます。**

● お客さまの環境価値ニーズに応えるべく、買取った余剰電力を利用し、お客さま同士をつなげる新たなサービスも検討していきます。



再生可能エネルギー導入の拡大に向けた調整力の提供

● 東京ガスエンジニアリングソリューションズがアグリゲーターとして、送配電事業者が公募する調整力を落札し、DRサービスを実施しています。

蓄電池を活用したエネルギー利用の最適化とEV市場拡大への対応

- 当社用地において蓄電池・EV充放電器を導入し、PVの自家消費、電力ピークカット等を目的とした特性評価試験を実施しています。
- 拡大するEV市場へ対応して、自動車メーカーとのアライアンスを進め、本年下期には日産自動車(株)と連携し、サービス提供を開始します。なお、将来的には電気自動車専用の電気料金メニューも検討していきます。



再生可能エネルギー電源の獲得

- **これまで** 陸上風力発電を中心に再生可能エネルギーの取り組みを進めてきました。昨年度から、太陽光・洋上風力発電への取り組みも開始し、太陽光発電所の取得（持分：1.3万kW）や、**鹿島港大規模洋上風力発電事業への出資**を行いました。
- **これから** 「洋上風力発電」へ積極的に取り組むとともに、**ビジネスパートナーと共同した事業参画**、国内にとどまらず**海外のさまざまな国・エリアにおける事業参画を加速**することで、まずは**100万kW規模（国内40万kW・海外60万kW）の再生可能エネルギー電源の獲得**をめざします。

新たな再生可能エネルギー電源の獲得

- (株)ウィンド・パワー・エナジーが計画を進める**鹿島港大規模洋上風力発電事業**（全18.7万kW）へ出資（15.6%）しました（2018年4月）。
- 太陽光発電の開発・運営会社であるフotonジャパン(同)が開発した、太陽光発電所6サイトを取得（0.9万kW）しました。
- 東京センチュリー(株)、(株)九電工と共にSFKパワー(同)に出資（39%）し、太陽光発電所6サイト0.97万kW（持分：0.4万kW）を取得しました。



<鹿島港大規模洋上風力発電所 完成イメージ>



<埼玉県熊谷市 太陽光発電所>



<熊本県南関町 太陽光発電所>



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 の成功に向けた取り組み



TOKYO GAS



東京2020オフィシャルガス・ガスにサービスパートナー

- 「東京2020オリンピック・パラリンピック推進部」を設置し、**東京2020大会のオフィシャルパートナー（ガス・ガス公共サービス）**として、大会運営への支援と機運醸成に取り組んでいます。なかでも、誰にでも優しい社会の実現に向けて、**東京2020パラリンピックの成功に注力**しています。
- 東京2020大会を「**共生社会**」へのきっかけと捉え、その実現に向けて活動を展開するとともに、東京2020大会以降も継続的かつ持続可能なものとなるよう取り組んでいます。

大会運営支援等を通じた地域発展への貢献

現在～（2020年に向けて）

東京2020大会

2020年以降

大会成功への機運醸成

- 障がい者スポーツ支援
- 豊かで快適な暮らし・街を支えるサービス提案等の事業展開
- 社会全体の課題への地元企業としての取り組み



2020年以降も継続的に実施することで、私たちのめざす姿の実現に尽力

めざす姿

- 共生社会の実現
- 地域発展への貢献

多様性や個性を尊重する風土づくり



大会運営への支援

- エネルギーの安定供給とセキュリティ対応
- エネルギー面での先進的な取り組み



2018年度における活動の展開（一部）

分野	実施内容	実績
障がい者スポーツ競技観戦	日本車いすバスケットボール選手権大会 ジャパンパラウィルチェアラグビー競技大会 ジャパンパラ水泳競技大会	累計 約3,000人
運営ボランティア	ジャパンパラ各種大会	累計 約110人
パラリンピックスポーツ理解促進	もっと知ろう！東京2020パラリンピック全22競技集合！@豊洲がすてなーに、新宿・横浜ショールーム	約3,300人
共生社会に向けた取り組み	グループ社員のサービス介助基礎検定取得（2020年1,000人目標） パラアスリート・親子の「片手でクッキング」体験実施	累計 約460人
東京2020参画プログラム	障がい者スポーツ体験型校外学習出張授業（資源エネルギー編・エコ食編）	年4回程度 累計約250回 8,000人予定
エネルギー面の先進的取り組み	環境対応車の導入（2020年100台目標）	累計 56台予定

SDGsの達成に向けた貢献

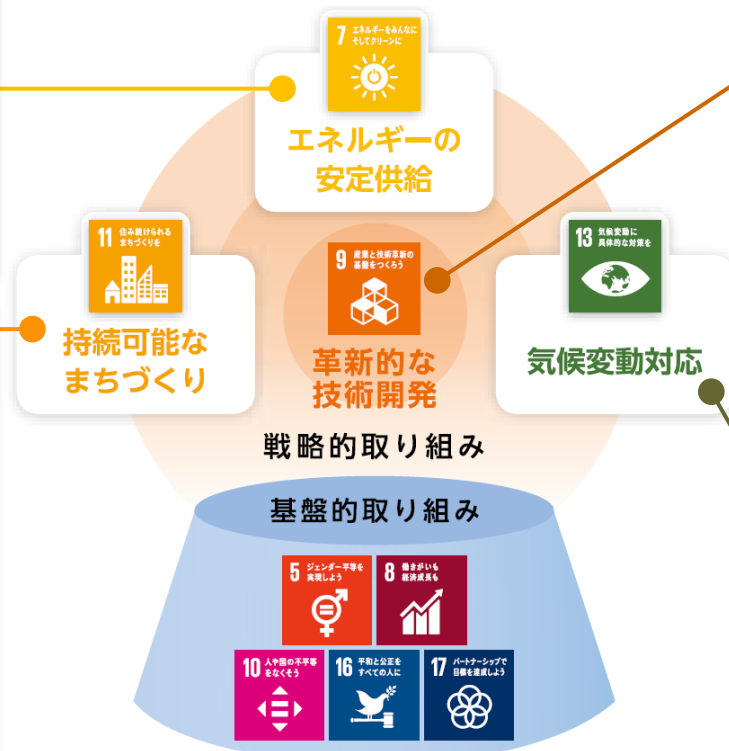


- これまで** 1969年に日本で初めてLNGを輸入して原料を低炭素な天然ガスに転換するとともに、LNG基地・導管幹線網の整備や地震防災対策、高効率ガス機器の開発等により天然ガスの普及拡大を進め、多くのお客さまに都市ガスをお届けしています。
- これから** GPS×Gの取り組みを通じて、持続可能な開発目標「SDGs（Sustainable Development Goals）」において当社グループが貢献をめざす分野に注力し、**クリーンなエネルギーを安全に安定的にお届けすること**、**持続可能な暮らし・まちづくり**等に貢献していきます。

東京ガスグループが貢献をめざすSDGs

- 低炭素な天然ガスへの切り替えやガス製造・発電効率の向上、再生可能エネルギー導入により、よりクリーンなエネルギーをご提供します。

- スマートエネルギーネットワークの取り組みにより、地域全体でのエネルギー効率向上や防災機能を充実させ、住みよいまちづくりに貢献していきます。
- ガス・電気・サービスをお届けすることを通じ、快適な暮らしに貢献していきます。



- 環境に優しい燃料電池の普及拡大のため、発電効率を大幅に向上させる技術開発に取り組んでいます。
- 災害に強く、信頼性の高い都市ガス導管網を構築します。また、東南アジアにおいて、強靱なエネルギーインフラを構築していきます。

- LNGの開発・生産、ガスの製造・輸送、発電、お客さま先での使用時に至るまでのバリューチェーンを通じ、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。



重点戦略・基盤強化を推進するための 業務改革を通じた体制強化

組織改革・人材基盤強化



- “GPS2020”の重点戦略や基盤強化を着実に推進していくために、再生可能エネルギー電源の獲得やオープンイノベーション推進等の体制強化に取り組んできました。
- **IoT・AI等のデジタル技術**をより一層活用した**業務改革**を通じて、従来業務の生産性向上にとどまらないさらなる**価値創造、お客さまの利便性向上**を実現する体制・機能を強化していきます。

製造・発電

供給

販売・サービス

【LNG基地の保安向上】

- ウェアラブルカメラ等を活用した点検品質の高度化や、バイタルセンサー装着によるフィールド業務の安全・防災の向上をめざします。

【ガス設備点検業務の見直し】

- 点検対象設備をデータベース化し、モバイルを活用することで、お客さま先での点検作業をよりスピーディーに行っています。

【ライフバルの営業改革】

- モバイルの活用により、訪問時刻を詳細化したり、お客さま先で業務を完結させることで、お客さまがご希望するタイミングでサービスをご提供します。

【操業の高度化・効率化】

- LNG基地・発電所のデータプラットフォームを構築し、オペレーション・設備管理の高度化・効率化をめざします。

【ガス漏れ対応の迅速化】

- 緊急車の自動配車システムにより、配車をエリアフリー化し、緊急時の駆けつけ時間を短縮します。

【コミュニケーション手段の拡大】

- 電話の自動応答に加え、WEB・SNS・チャット等を組み合わせ、お客さまがご希望するタイミングと手段で、お問い合わせに的確に対応します。

【業務改革】

デジタル技術の活用を通じて業務をスピードアップし、“GPS”をローコストかつタイムリーにお届けします

あなたとずっと、今日よりもっと。

